

マルチレベル認定、その概要

受講生がH S A実技認定基準の求める要件を満たす能力に基づいて、マルチレベル認定は開発された。それはまさに障害者ダイバーにとって何が特別に必要なかを査定し、それに応じて便宜を図るための方法である。それぞれのタイプの認定についての基本的理論は次の通りである。

レベルA

受講生は与えられた全てのH S A実技基準に熟練し、安全にスキューバダイビングを楽しむことができる。セルフレスキュー、ストレス下の他のダイバーに対する援助、基本的なレスキュー活動を行うことができる。

レベルB

受講生は、安全にスキューバダイビングを楽しむためのスキル、セルフレスキューに関するスキルについてのH S A実技基準に熟練していなければならない。しかし彼等はストレス下の他のダイバーをレスキューする技術に関する実技基準に関しては達成できない。

しかるに、彼等は2名以上の認定ダイバーと共に潜水活動を行うべきものとして認定される。パディーたるダイバーは、レベルAダイバーまたはそれ以上のレベルであること。緊急に際してはこのシステムによって、ダイビングチーム中のあらゆるダイバーに等しく効果的なパディーシステムが維持できる。

レベルC

受講生は、安全にスキューバダイビングを楽しむためのスキルに関しては、H S A実技基準に熟練していなければならない。だが、自らのトラブルについても自分で効果的に対処するためのスキル、及び潜降、浮上、潜泳、B C Dの操作等の基本的なスキルについての実技基準に関しても達成することはできない。

従ってそれらの基本的な技術に関してはパディーがアシストする必要があるために、彼等は、2名の認定ダイバーと共にダイビングするものとして認定され、しかも内一名は国際的に認められたダイビング認定団体によって、レスキューダイバーとして認定され、スキューバで他のダイバーを扱う訓練を受けたものでなければならない。多くの場合、そのダイバーは、インストラクター、アシスタントインストラクター、ダイブマスターもしくは、H S Aオープンウォーターダイブパディーとなる。

H S A実技認定基準及びマルチレベル認定によるメリットとは：

1. 受講生がある種のスキルに関する実技基準をクリアできなかった場合に、採用すべき適当な方法を明文化することにより、インストラクターは、たとえばあまりよく知らない障害を持った受講生に対しても、自分のよく知っている認定基準の範囲内で活動さえしていれば、インストラクターとして立派に機能することができるのである。

